

# 教育現場での ICT活用についての 調査結果

デジタルアーツ株式会社

**調査対象：** デジタルアーツの情報モラル教育学習資料をダウンロードした教育関係者

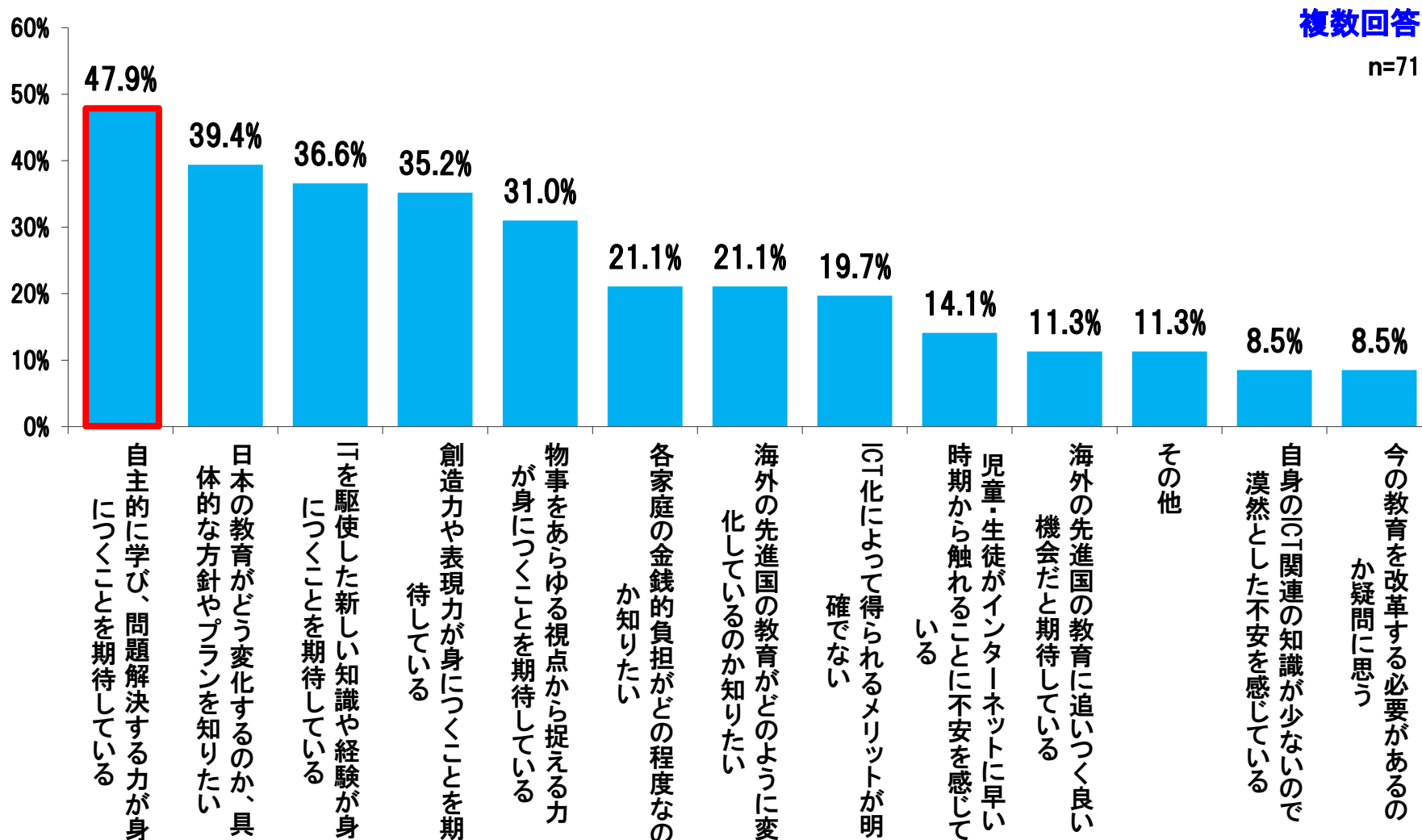
**調査期間：** 2016年11月9日(水)～11月30日(水)

**調査方法：** インターネット調査

**有効回答数：** 71サンプル

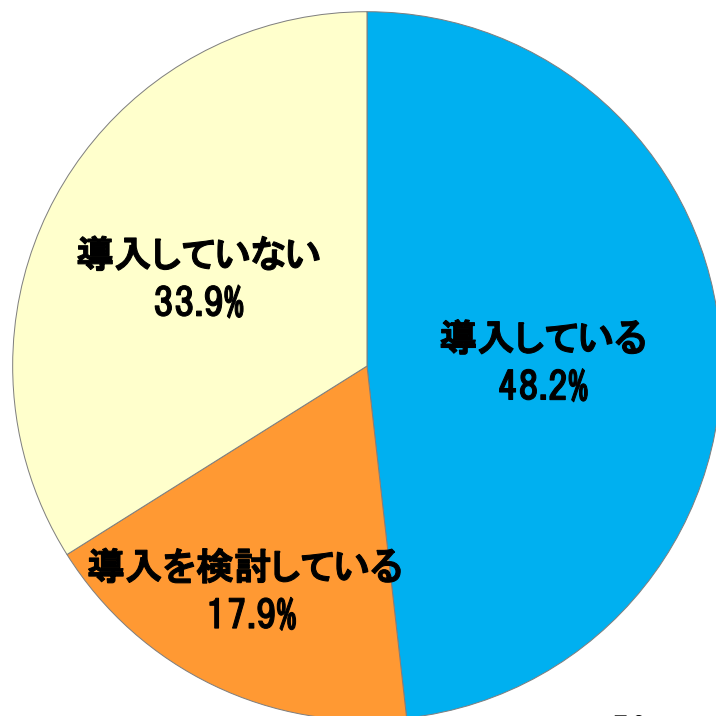
**調査概要：** 文部科学省が2020年に向けて、小学校でのプログラミング必修化、デジタル教科書の導入、1人1台のタブレット端末を使用した授業の導入が進む中、実際に教育に携わる方々が変革に対してどのように考えているかを把握する為に実施。

■プログラミング・タブレットの導入についての考えで最も多いのは「自主的に学び問題解決する力が身につくことを期待している」**47.9%**。



■学校・塾でタブレットを使った授業を導入しているのは48.2%。プログラミング授業を実施しているのは28.6%。

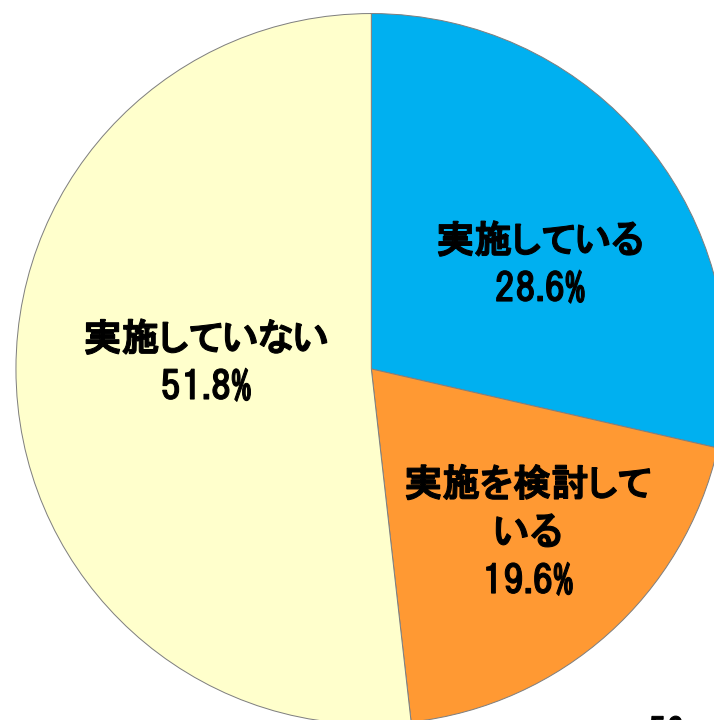
【タブレットの導入状況】



n=56

学校に勤めている人ベース

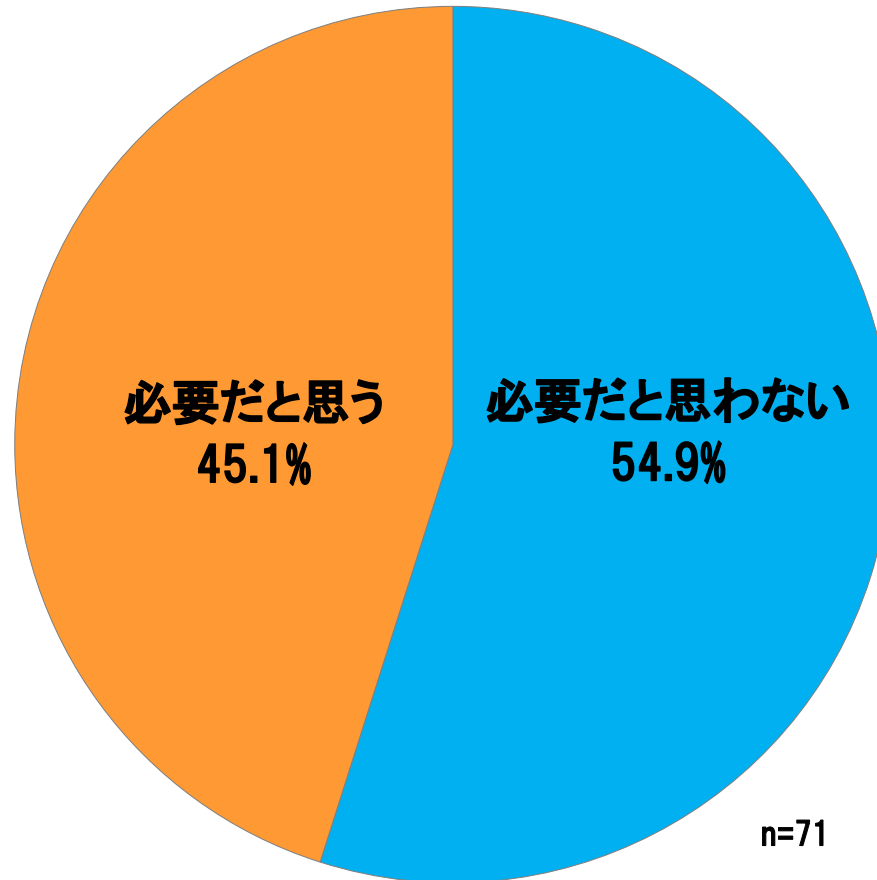
【プログラミング授業の導入状況】



n=56

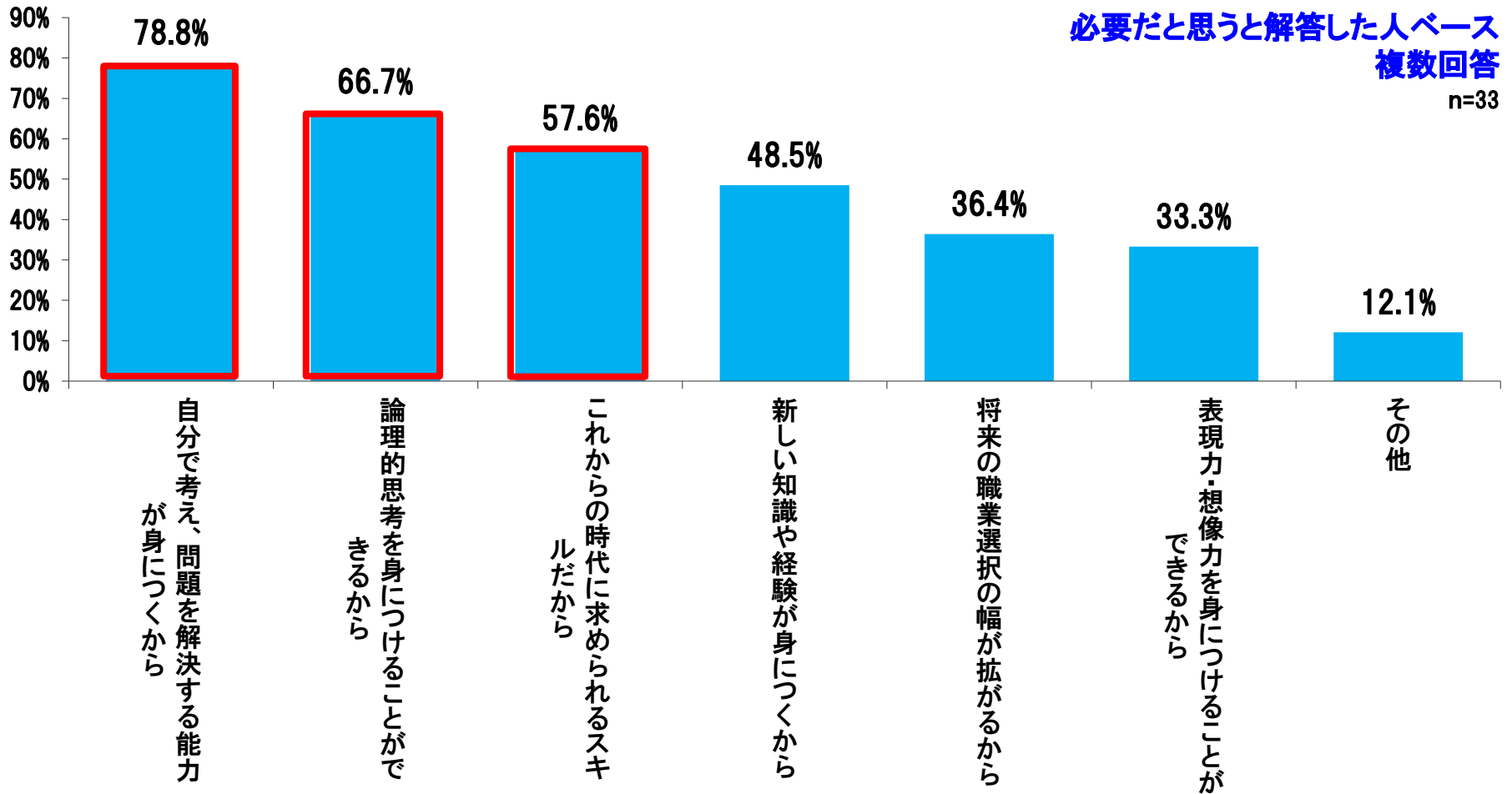
学校に勤めている人ベース

■ 小学校でのプログラミング授業の必修化について「必要だと思わない」**54.9%**、  
「必要だと思う」**45.1%**。



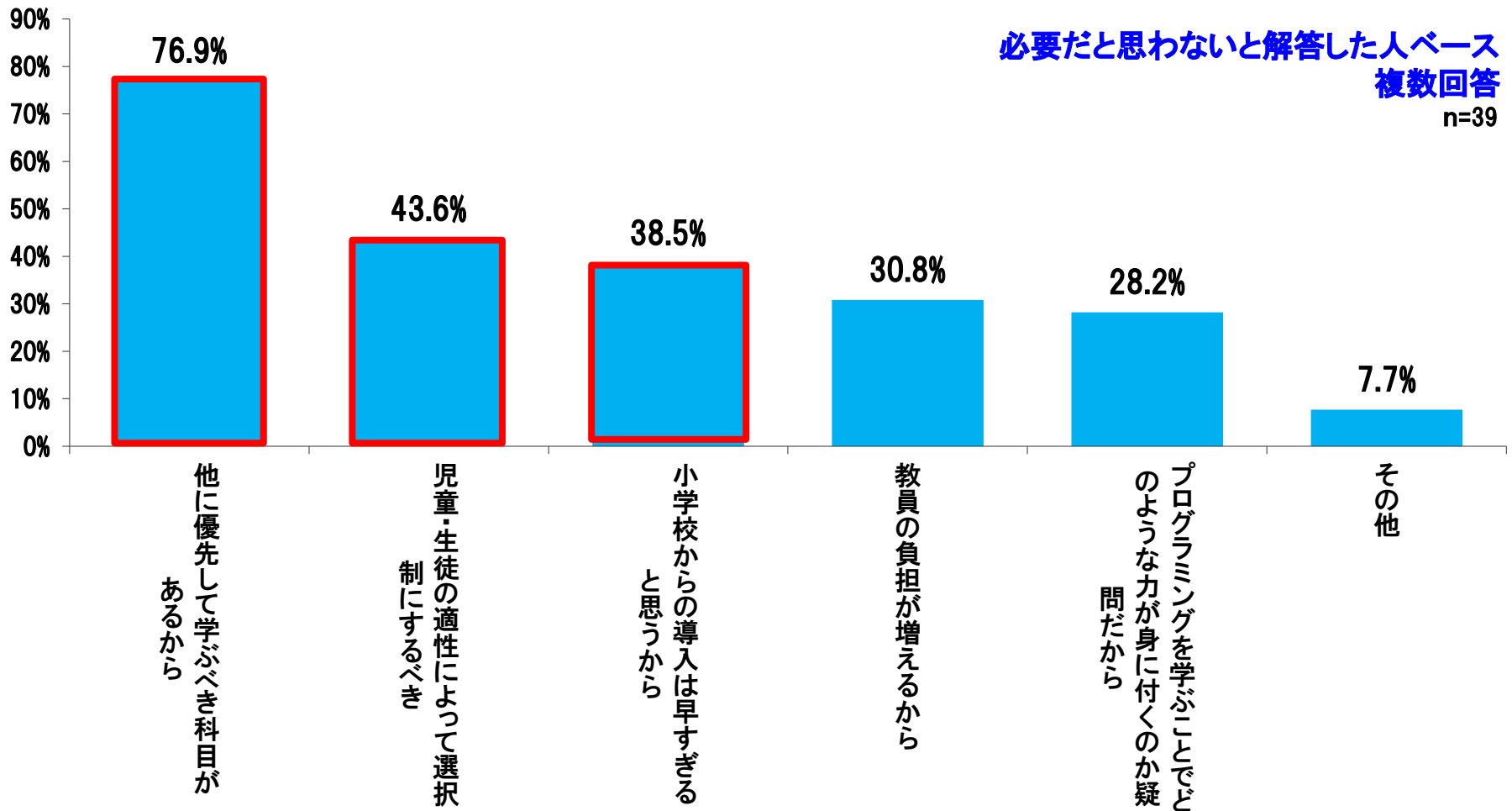
# 必要だと思う理由

■プログラミングの授業の必修化が必要だと思う理由は「自分で考え、問題解決する能力が身につくから」**78.8%**。「論理的思考を身につけることができるから」**66.7%**、「これからの時代に求められるスキルだから」**57.6%**。

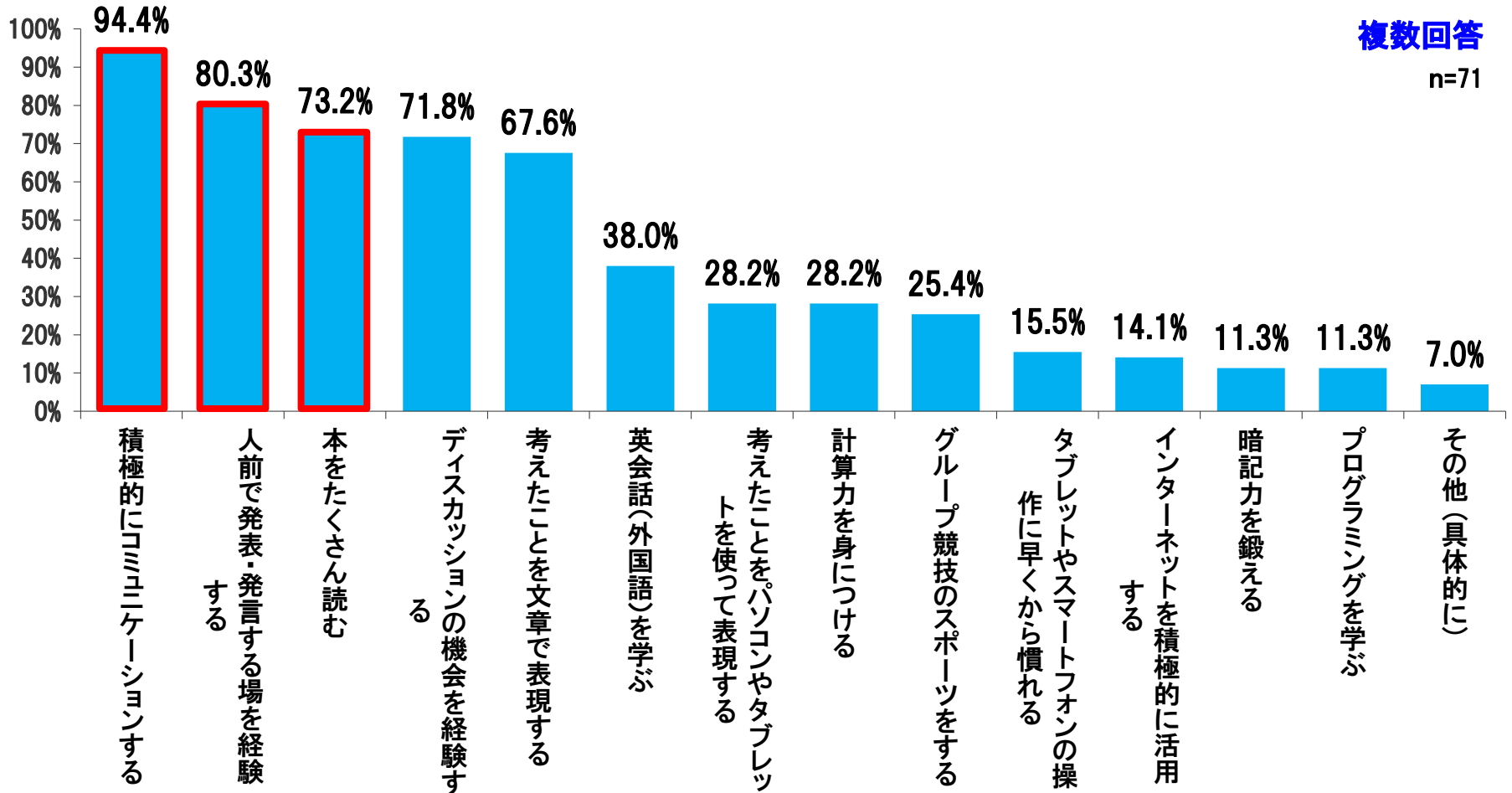


# 必要だと思わない理由

■プログラミングの授業の必修化が必要だと思わない理由は、「他に優先して学ぶべき科目があるから」**76.9%**、「児童・生徒の適正によって選択制にするべき」**43.6%**、「小学校からの導入は早すぎると思うから」**38.5%**。



■児童・生徒が社会人になる前に積極的に経験しておいて欲しいのは、「積極的にコミュニケーションする」**94.4%**、「人前で発表・発言する場を経験する」**80.3%**、「本をたくさん読む」**73.2%**。



- 児童・生徒が社会に出る際に必要とされる能力は、「人間関係形成力」40.8%、「コミュニケーション能力」39.4%、「思考力」36.6%。
- 「情報リテラシー」8.5%、「ITの操作スキル」0%とICT関連の能力は重要視されていない。

